オーダーメイド

[シマウマスライドドア]

引違戸／引込戸

共通取扱説明書

**ご使用の前に
必ずお読みください**

発売元 JK GROUP 201007

〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで
製造元 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
営業開発グループ	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

⚠ご 注 意　ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。

以下の項目に注意し、日頃のお手入れを欠かさず、本製品を長くご愛用ください。

扉部分の注意事項

手や指をはさまれないようご注意ください。



扉の開閉時は、手や指がはさまれる危険性がありますので、充分注意してください。

特に小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、扉間の隙間や扉とレール・床の隙間に、手や指がはさまれる可能性がありますので、充分にご注意ください。

開閉はゆっくり行なってください。



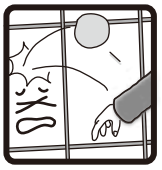
勢いよく開閉した際に、指や手、体の一部等をはさんだり、激しく当たったりしてケガをする可能性があります。周りに充分注意して、ゆっくり行なってください。

扉には寄りかからないでください。



扉に一定以上の負荷がかかると、外れる可能性がありますのでご注意ください。

強い衝撃を与えないでください。



扉に物をぶつけたり、ぶつかったり等、強い衝撃を与えないでください。扉の破損につながるおそれがあります。

日常のお手入れ。



日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、布に水で薄めた中性洗剤をしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、よく乾燥させてください。

水気に注意してください。



本製品に直接水がかからないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。

テープ等を貼らないでください。



粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らないようにしてください。表面化粧がはがれるおそれがあります。

油やインクに注意してください。



水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

扉部分のお手入れ方法

【開閉動作部分】

定期的な動作確認と掃除を行なってください。

●レールや扉本体上部の吊車周辺等に、ホコリや異物等が付着したまま長期間使用すると、レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。定期的に動作確認と掃除を行なってください。

【アルミ部分】

布やスポンジなど柔らかいものを使い定期的に汚れを拭き取ってください。

●洗剤は必ず中性洗剤を薄めて使用してください。

●家具・床材に使用する溶剤系のクリーニング液や便器・タイルの洗浄液等の酸性やアルカリ性のものは、色むらの発生や劣化を促進する原因になりますので使用しないでください。

●金ヘラや金属ブラシなどの使用は避けてください。

【パネル部分】

中性洗剤を水で200倍程度に薄めものを柔らかい布に染み込ませ、軽く拭き取ってください。

●洗剤を原液のまま使用しないでください。クラック(ひび割れ)が発生するおそれがあります。

●クレンザーやアルカリ性洗剤、タワシや硬い布は使用しないでください。

施工業者様用

施工前に本書を必ずお読みください

オーダーメイド

201010

[シマウマスライドドア]
引違戸 引込戸 共通施工説明書

対象製品

引違戸 2枚(2本レール)／3枚(2本レール)・3枚(3本レール)／4枚(2本レール)

引込戸 2枚(2本レール)／3枚(3本レール)　各3方枠・4方枠 共通

発売元 JK GROUP

〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで

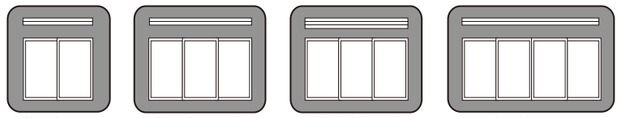
製造元 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

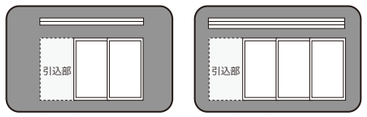
北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
営業開発グループ	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

⚠ 本施工説明書は以下の対象製品をひとつにまとめ説明しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。

引違戸 納まりタイプ 各3方枠・4方枠



引込戸 納まりタイプ 各3方枠・4方枠

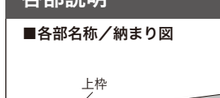


■本書は引違戸3枚(3本レール)・右勝手を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レール本数・引込部分の有無で、基本的な施工方法は同じです。
■2枚(2本レール)の場合は図中の 中 マークに該当する部分の手順がなくなります。同じ2本レールの3枚(2本レール)／4枚(2本レール)は、この2枚(2本レール)に準じます。
■引込戸は引込部分の上枠・上レール・下レールが延長するだけで基本施工方法・手順は同じです。■左勝手の場合は左右対象の取り付けとなります。
このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

注意事項

施工前に製品をよくご確認ください ●品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がありましたら、販売店様または弊社営業までご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので、必ず施工前に充分なご確認をお願いいたします。

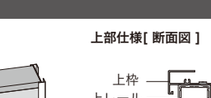
施工説明書をよくご確認ください ●間違った施工を行ないますと品質劣化や損傷につながります。本書以外の施工方法を行なった場合は、弊社での保証しかねますのでご注意ください。



本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



屋内であっても直接水のかかる場所や、湿度の高い場所には使用しないでください。



表面に粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を貼らないようにしてください。



水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

指示記号は下記のとおりです

禁　止：行なってはならない項目です。

ご注意：特に気をつけていただく項目です。

安全上のご注意

⚠ ■製品の上に載ったり、ぶら下がったりしないでください。
■製品をシンナーやアルコールなどの溶液で拭かないでください。色ムラの発生や、劣化を促進する原因になります。

施工上のご注意

製品の施工について
■現場の建築完了まで、本体および3方枠・4方枠を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

⚠ **製品の施工について**
■本製品はクロス貼り前に施工してください。■2人以上で施工してください。■下地は木下地を使用してください。
■付属のビスで施工してください。梱包に使用する箇所を明記しています。
■部材には取付位置を示すシールを貼っています。■電動工具でビス頭がつぶれないよう、締めすぎにご注意ください。
■3方枠・4方枠、特に上枠は確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不充分な場合、部材の落下原因になり危険です。
■扉本体が汚れた場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄く溶かした水を含ませて全体を拭き、その後アルミフレームのみ、水分を取り除くために乾拭きしてください。
■製品の仮置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、壁に立てかけて保管してください。
■施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようにご注意ください。特に床は養生を行ない、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。

躯体寸法の再確認
■施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
■最低3カ所は採寸してください。(採寸箇所は下図の矢印部分です)

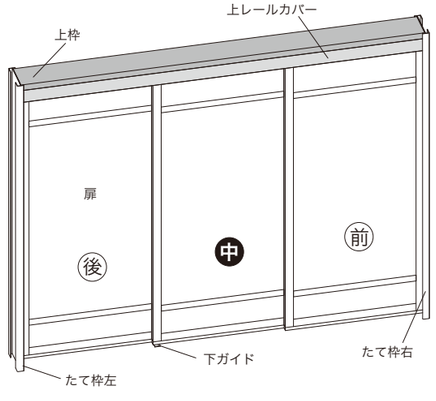


施工時の製品の取り扱いについて
■上・下レールや扉本体に、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、吊車やレールの摩耗の原因となり正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
■扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。

ソフトクローズ機構(スムーザー)について
■ソフトクローズ機構は扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する機能です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
■ソフトクローズ機構が作動する際、カシャという音が発生します。■扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じることがあります。
ソフトクローズ機構を扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。

各部説明

■各部名称／納まり図



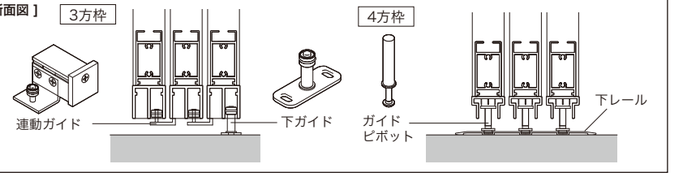
上部仕様[断面図]

扉本体と別梱包

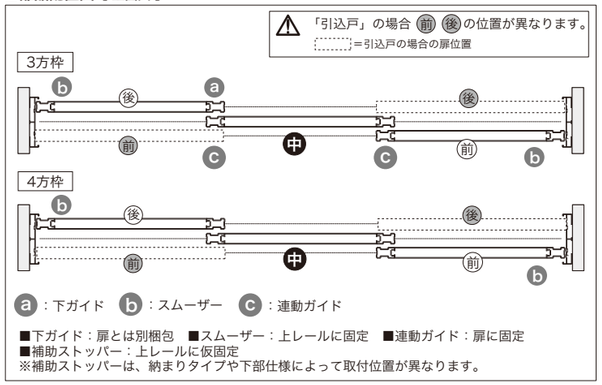


その他は扉本体・上レールに取付済

下部仕様[断面図]



■部品配置図 [上面図]

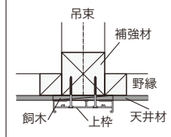
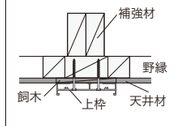
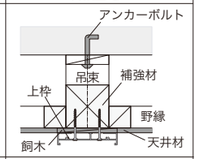
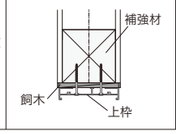
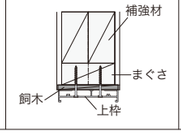
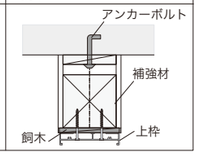


a：下ガイド　b：スムーザー　c：連動ガイド

■下ガイド：扉とは別梱包　■スムーザー：上レールに固定　■連動ガイド：扉に固定
■補助ストッパー：上レールに仮固定
※補助ストッパーは、納まりタイプや下部仕様によって取付位置が異なります。

■上枠・天井納まり(参考例)

製品の重量で天井や補強材が垂れ下がらないように確実に補強してください。
扉1枚当たり(扉幅900mm×扉高2400mmの場合)、20kg程度の重量があります。
躯体には充分な強度を持たせてください。

工法	在来工法	2×4工法	RC工法
天井直付			
垂れ壁納め			

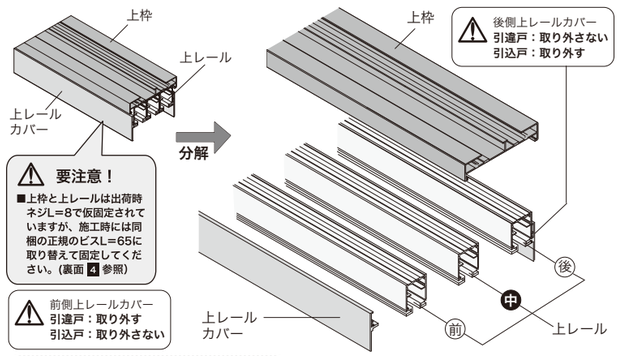
単位：mm

R =レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順　E =レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

施工手順

1 事前準備 E

仮固定された状態で梱包されている、上枠･上レールを分解します。
次に固定されている上レールカバーを取り外します。



⚠ 要注意！
■上枠と上レールは出荷時ネジL=8で仮固定されていますが、施工時には同梱の正規のビスL=65に取り替えて固定してください。(裏面 4 参照)

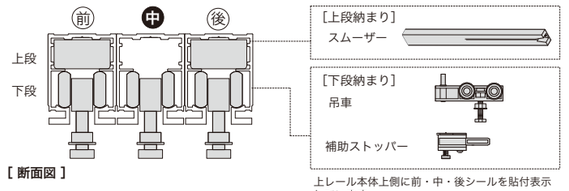
前側上レールカバー
引違戸：取り外す
引込戸：取り外さない

2本レールの場合は 中 がない状態です。
詳しくは別添の製品詳細図を参照ください。

⚠ ■片方の上レールカバーは取り付けたまま施工します。上図を参照してください。
■取り外した上レールカバーのネジL=8は、最終取り付けの際に使用するので、紛失しないようにご注意ください。

2 確認事項 E

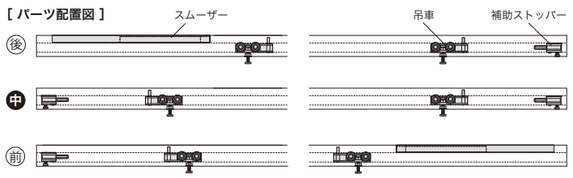
上レール内に下記のパーツがセットされているか確認してください。
上レールは、前用・中用・後用各1本ずつあります。それぞれ2段構造になっています。各段の正しい位置にパーツがセットされているか確認してください。



[断面図]

上レール本体上側に前・中・後シールを貼付表示しています。

[パーツ配置図]



引込戸や引違戸・4枚は配置が異なります。別添の製品詳細図を参照し施工してください。

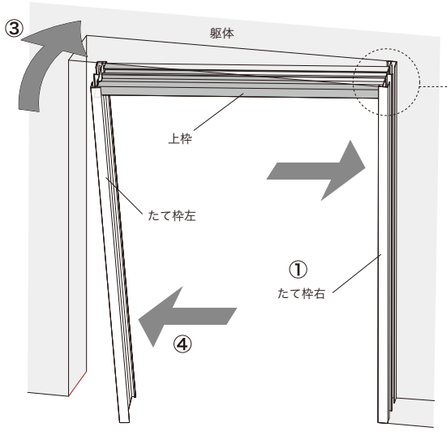
3 枠の取付方法 E

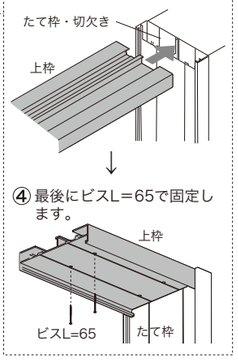
1 上枠・たて枠の取付方法(3方枠・4方枠)

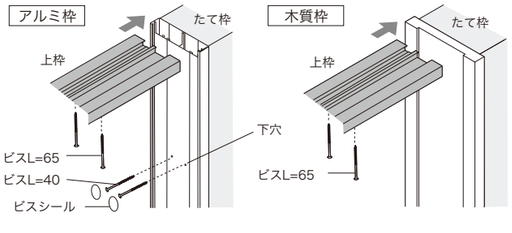
[アルミ枠] たて枠右 → 上枠・たて枠左の順に取り付けます。
[木質枠] ビス等は現地調達してください。（約600mmピッチで固定）

⚠ アルミ枠はたて枠左右を最初に取り付けると上枠が取り付けできません。

[アルミ枠の場合の手順]
① たて枠右をビスL=40で、約600mm ピッチの下穴位置で固定します。
② たて枠右の切欠きに上枠をはめ込みます。(ビス未固定／③も同様))
③ たて枠左と上枠の端を突合わせ、合せた部分を持ちあげはめ込みます。
④ たて枠・左右をビスL=40で、約600mmピッチの下穴位置で固定。上枠はビスL=65を使用し、約900mmピッチの下穴位置で固定します。
※木質枠の場合は、下図と製品添付の詳細図面を参照し施工を行なってください。







下穴にそってビスを固定。ビス頭にビスシールを貼付します。

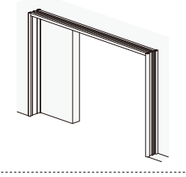
ビス現地調達。約600mmピッチを目安に固定してください。

⚠ 上レール位置が開口部に対してずれていると、開閉時動作が悪くなります。上枠は正しく取り付けてください。

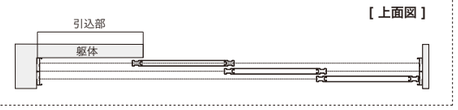
上枠は現場でカットしないでください。スムーザーが所定位置に取り付けられているため、これらの位置がズレてしまい正しい設置ができません。

[引込戸の場合の施工手順]

引込戸の場合は、引込部分の長さの上枠・上レールが延長されますが、基本の施工方法・手順は引違戸と同じです。ここまでの説明に準じて施工を進めてください。



[上面図]



オーダーメイド［シマウマスライドドア］ 引違戸 引込戸 共通施工説明書

引違戸 2枚(2本レール)／3枚(2本レール)・3枚(3本レール)／4枚(2本レール)
引込戸 2枚(2本レール)／3枚(3本レール)　各3方枠・4方枠 共通

NANKAI

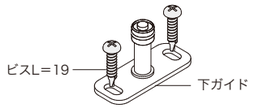
単位：mm

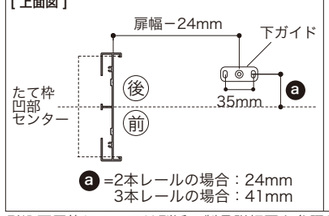
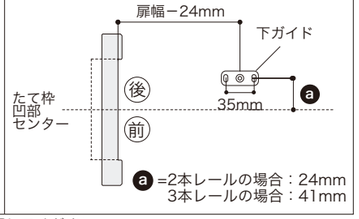
R=レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順 E=レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

施工手順

2 下ガイド(3方枠)の取付方法

下図を参照し、取付位置を墨出し下ガイドをビスL=19で固定します。位置は同様ですが下ガイドの取付個数は扉の枚数によって異なるため、別添の製品詳細図を参照してください。(引込戸も同様です)

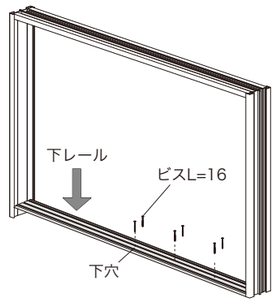


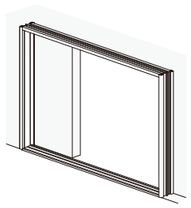
アルミ枠	木質枠
[上面図]  a =2本レールの場合：24mm 3本レールの場合：41mm	 a =2本レールの場合：24mm 3本レールの場合：41mm

引込戸用枠については別添の製品詳細図を参照してください。

2 下レール(4方枠)の取付方法

① たて枠・上枠を取付け後、下レールを取り付けます。
② 下レールを下穴にそってビスL=16で固定します。

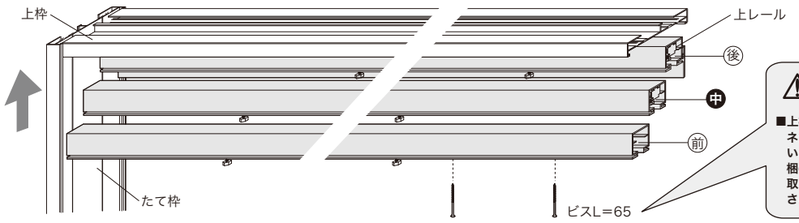




[引込戸・納まり図]

4 上レールの取付方法 E

1 で取り外しておいた上レールを後レールから順に、約450mmピッチであいている下穴に、L=65のビスで上枠・天井に固定してください。



⚠ 要注意！
■上枠と上レールは出荷時ネジL=8で仮固定されていますが、施工時には同梱の正規のビスL=65に取り替えて固定してください。

⚠
■上レールには、補助ストッパー：仮固定／スムーザー：固定／吊車：挿入の状態で梱包されています。
■上レール内に、木くずやゴミが入らないようにご注意ください。ゴミが入っていると、ソフトクローズ 機構が低下するおそれがあります。

2本レールの場合は 中 がない状態です。詳しくは別添の製品詳細図を参照してください。

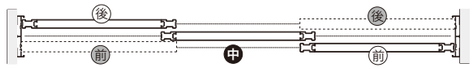
5 扉の取付方法 E

1 下部(扉後)の取付方法

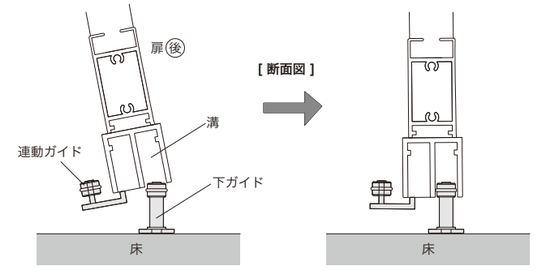
3方枠・4方枠とも扉後から取り付けてください。
次にそれぞれ 2 を参照して、上部を取り付け・固定後、次の扉の取付作業を行なってください。
作業はこの繰り返しとなります。

⚠
「引込戸」の場合の手順は
前→ 中 → 後 となりますのでご注意ください。
[ ] =引込戸の場合の扉位置

[上面図]

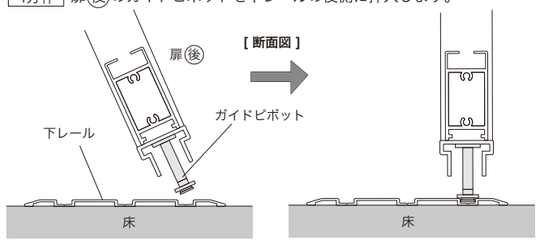


3方枠　下ガイドにゆっくりと、扉後の溝をはめ込みます。
扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



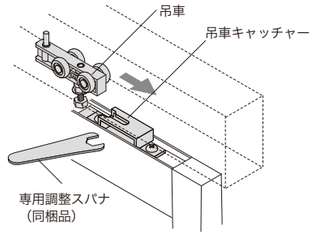
⚠ 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏が合っているかどうか再度確認してください。3方枠の場合、表裏を逆に取り付けてしまうと連動ガイド位置が逆になり、以後の施工ができなくなります。

4方枠　扉後のガイドピボットを下レールの後側に挿入します。

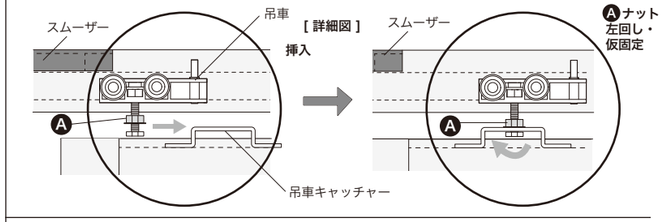


2 上部の取付方法

扉を垂直にして、上レールの吊車を、扉の吊車キャッチャーに挿入し、奥までしっかり差し込み、専用調整スパナ（同梱品）を使って A のナットを締めて仮固定してください。建てつけ調整は、すべての扉を取り付け後行ないます。（ 6 参照）



⚠ 必ず奥まで差し込んで固定してください。差し込みが甘いと、振動や衝撃で余分な負荷がかかり、扉の故障の原因となります。

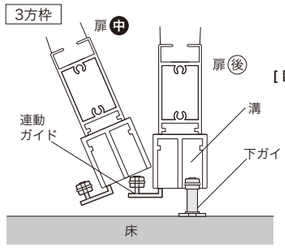


3 扉 中 前 の取付方法

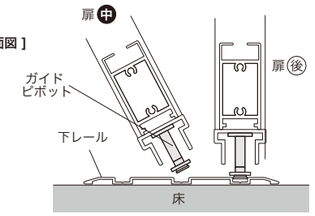
連動ガイドに、扉 中 の後側の溝を挿入します。扉 前 も同じ要領で取り付けます。

扉 中 前 も、後 と同じ要領で下レールにガイドピボットを挿入します。

3方枠



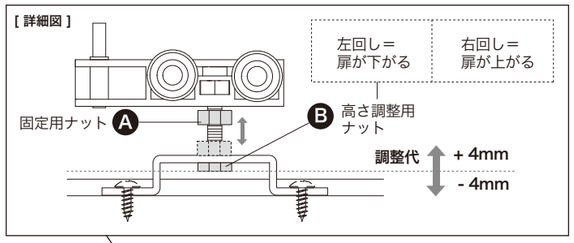
4方枠

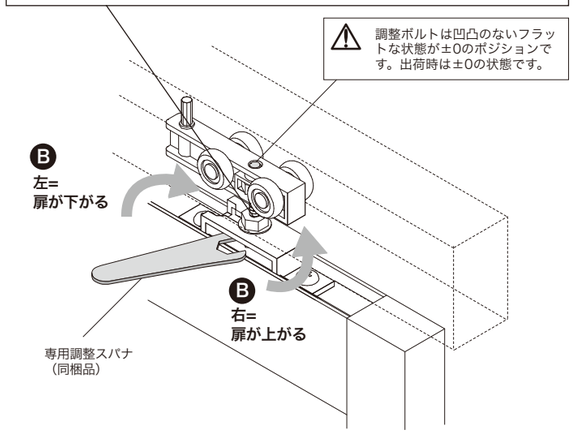


それぞれ 2 を参照し、上部を取り付け・固定後、次の作業に移行してください。

6 高さの調整方法 R

1 A のナットを専用調整スパナ(同梱品)で右に回し、ゆるめます。
2 B のナットを回し、扉の高さ調整を行ないます。(調整代±4mm)
3 A のナットを左に回し、ベストな状態で固定します。



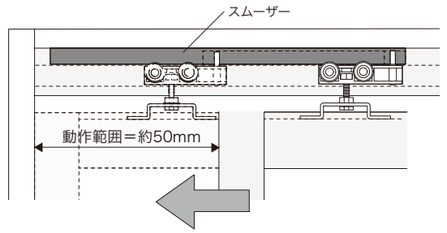


⚠ 調整代±4mm以上の調整を行なった場合、引違戸の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。

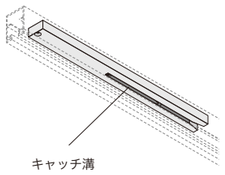
7 スムーザーの動作確認 R

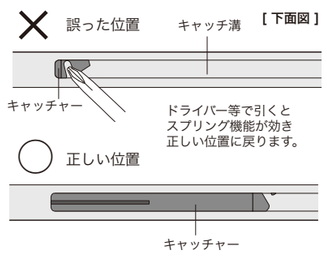
扉をスライドさせスムーザーが正しく動作しているか確認してください。

[詳細図]



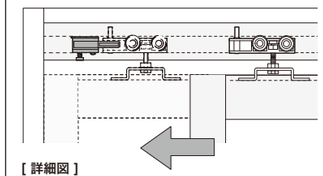
スムーザー内のキャッチャー位置が正しくないと、スムーザー機能が動作せず扉がゆっくり閉まりません。
下図を参照し、キャッチャー位置を確認してください。正しくない場合は、キャッチ溝にドライバー等を挿入し、軽く引いて正しい位置にもどしてください。



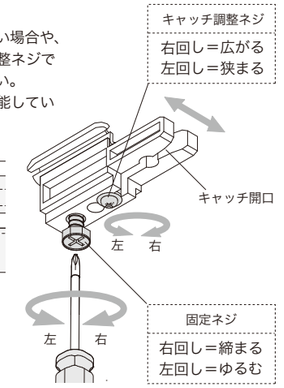


8 補助ストッパーの固定・調整方法 R

1 出荷状態で仮固定されていた補助ストッパーを、扉を閉めてストッパーが機能する箇所まで移動させてください。
2 機能する箇所で、固定ネジを締め本固定してください。
3 キャッチ開口の幅が狭く閉まりにくい場合や、広すぎてゆるい場合は、キャッチ調整ネジでキャッチ開口の幅を調整してください。
最後に扉の開閉を行ない、適切に機能しているか確認してください。



[詳細図]



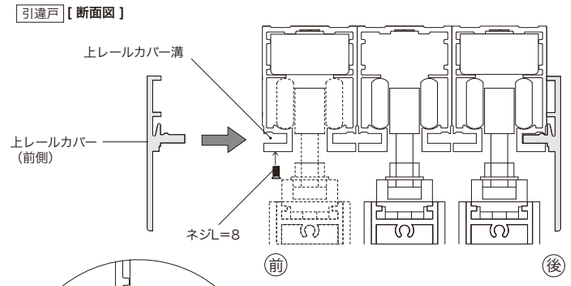
9 上レールカバーの取付方法 R

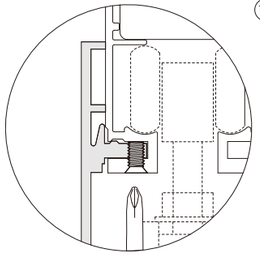
すべての取り付け・調整が終了したら、1 で取り外していた前側の上レールカバーを下図の方法で取り付けてください。
固定はサイズに関わらず6カ所です。下から 1 で取り外していたネジL=8で固定してください。



上レール本体の上レールカバー溝に沿って挿入します。

引違戸 [断面図]





[拡大図]

✖ 電動工具は使用しないでください。トルクが強すぎると、ビス頭がつぶれるおそれがあります。

⚠ 「引違戸」の場合は、前側のレールカバーを取り付けます。
「引込戸」の場合は、後側のレールカバーを取り付けます。

引込戸 [断面図]

